

実 施 状 況 (会津若松市・1日目)

ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業のワークショップが 会津若松市でスタートしました。

平成27年7月21日(火)13:30~16:00

あいづゎゕまっし あいづしょうこうしんようくみあいほんまちしてん 会津若松市・会津商 工信用組合本町支店

(開講式)

開講式では、会津若松市本町商店街振興会の松澤洋治 会長と福島県商業まちづくり課の告競宣字課長があいさ つした後、参加する小学生の皆さんやスタッフの自己紹介を 行いました。



[ワークショップ]



ワークショップではまず、本町商店街の昔の写真を見て、 本町商店のた一枚を一人一人が選びました。

その後、実際に商店街を歩き、写真が撮影された場所の現在の様子を見て、「商店街が昔と今でどんな風に変わったか」を考えました。

次回は、商店街を歩いてお店の人のお話を聞き、本町 たようてんがい 商店街のおもしろいところを発見する予定です。



~ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業について~

この事業は、ふるさとの商店街に賑わいを取り戻すため、地域のこども達が 商店街について楽しみながら学び、考え、アイディアを実現することにより Future From Fukushima. 「商店街の活性化」と「こども達のふるさとへの愛着心(まちづくりへの参画の第一歩)の醸成」を 図るもので、平成27年度は会津若松市、南相馬市、本宮市の3地域で実施しています。 ワークショップでこども達が考えたアイディアを、こども達が中心となって実現します。

※ 全国の皆様からいただいた寄付金を財源とする 「福島県東日本大震災こども支援基金」を活用しています。

商店街プロデュース事業



ふくしまからはじめよう。